

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大興運輸株式会社 西尾中原物流センター	階数	地上2階
建設地	西尾市八ツ面町切戸150 他43筆	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし/防火地域指定なし	平均居住人員	80人
気候区分	6地域	年間使用時間	5,856時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2019年8月8日
敷地面積	26,784 m ²	作成者	宮川 一真
建築面積	15,789 m ²	確認日	2019年8月6日
延床面積	16,279 m ²	確認者	高橋 幸



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 79%
③上記+②以外の: 79%
④上記+: 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 重点項目

①地球温暖化への配慮

3.8

③敷地内の緑化

2.0

外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)

29.0%

建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)

0.0%

②資源の有効活用

3.4

④地域材の活用

1.0

<外装材に使用した地域性のある材料>

なし

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>

なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用
なし

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{建築面積} + \text{附属物面積}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部						建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体	
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部		建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体			
		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体				
Q 建築物の環境品質													2.9		
Q1 室内環境															
1 音環境															
1.1 室内騒音レベル													3.0		
1.2 遮音															
1 開口部遮音性能															
2 外壁遮音性能															
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)															
4 界床遮音性能(重量衝撃源)															
1.3 吸音															
2 温熱環境															
2.1 室温制御															
1 室温													3.0		
2 外皮性能													3.0		
3 ゾーン別制御性													3.0		
2.2 湿度制御													3.0		
2.3 空調方式													3.0		
3 光・視環境															
3.1 屋光利用															
1 屋光率													3.0		
2 方位別開口													3.0		
3 屋光利用設備													3.0		
3.2 グレア対策															
1 屋光制御													5.0		
3.3 照度													3.0		
3.4 照明制御													3.0		
4 空気質環境															
4.1 発生源対策															
1 化学汚染物質													3.0		
4.2 換気															
1 換気量													3.0		
2 自然換気性能													3.0		
3 取り入れ外気への配慮													3.0		
4.3 運用管理															
1 CO ₂ の監視													3.0		
2 喫煙の制御													3.0		
Q2 サービス性能													0.43		
1 機能性															
1.1 機能性・使いやすさ															
1 広さ・収納性													3.0		
2 高度情報通信設備対応													3.0		
3 バリアフリー計画													3.0		
1.2 心理性・快適性															
1 広さ感・景観 (天井高)													3.0		
2 リフレッシュスペース													3.0		
3 内装計画													3.0		
1.3 維持管理															
1 維持管理に配慮した設計													3.0		
2 維持管理用機能の確保													3.0		
2 耐用性・信頼性													0.5 3.0 0.52		
2.1 耐震・免震・制震・制振													0.4 3.0 0.48		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)													3.0 3.0 0.80		
2 免震・制震・制振性能													3.0 3.0 0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数													0.3 3.0 0.33		
1 躯体材料の耐用年数													3.0 0.23		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔													3.0 0.23		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔													3.0 0.09		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔													3.0 0.08		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔													3.0 0.15		
6 主要設備機器の更新必要間隔													3.0 0.23		
2.4 信頼性													0.1 3.0 0.19		
1 空調・換気設備													3.0 3.0 0.20		
2 給排水・衛生設備													3.0 3.0 0.20		
3 電気設備													3.0 3.0 0.20		
4 機械・配管支持方法													3.0 4.0 0.20		
5 通信・情報設備													3.0 2.0 0.20		

耐震クラスAを採用

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

大興運輸株式会社 西尾中原物流センター

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
② 資源の有効活用				3.4
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.2	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.2	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:29%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 屋内環境では、遮音性能に配慮した室内環境を確保した。 屋外環境では、植栽により良好な景観を形成した。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 空間の形状・自由度を考慮。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 外壁デザインを極力シンプルなもの(ガルバリウム角波鋼板)とし、周辺の風景とバランスよく調和した計画としている。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建物外皮の熱負荷抑制=0.77として、熱損失・熱取得の低減に努める。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 有害物質を含まない材料を積極的に採用する。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 光害に配慮し、敷地外への影響の低減を図る。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。 特になし。